

Q&A

操作編

Q1 エステショットの乾燥は？

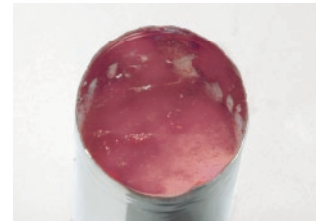
- A 60℃で24時間もしくは70℃で4時間乾燥を行ってください。
ペレットが融着するので、70℃より高い温度で乾燥しないでください。

Q2 乾燥状態によりエステショット溶融状態はどのように異なりますか？

- A エステショットの乾燥が不十分な場合、エステショットが発泡します。
再度、エステショットを乾燥し成型を行ってください。



未乾燥



乾燥済み

Q3 作業模型の石こうは何を使用しますか？

- A 歯科用硬質石こう、もしくは歯科用超硬質石こうを使用してください。
(高膨張の石こうは使用しないでください)

Q4 エステショットは人工歯と接着しますか？

- A 接着しません。
維持孔を付与してください。

Q5 エステショットは金属、陶歯と接着しますか？

- A 接着しません。
機械的維持を付与する必要があります。

Q6 脱ろう後、フラスコの乾燥は必要ですか？

- A 脱ろう後、室温になるまで放冷してください。
フラスコを100℃以上にするような乾燥は必要ありません。
放冷後、レジン分離剤を塗布し成型を行ってください。

Q7 成型時フラスコは温度によりエステショットの面性状は変わりますか？

- A 室温のフラスコにて成型を行ってください。
フラスコを50℃より高い温度にすると、石こうの焼き付き・エステショットに変色が生じます。



100℃のフラスコを使用した場合

Q8 エステショット以外の材料と混合して成型できますか？

- A エステショット以外の材料と混合して使用することはできません。

Q9 一度溶融したエステショットを再度溶融し、使用することはできますか？

- A 使用できません。
(強度の低下および変色しますので再利用しないでください)

Q10 石こう溶解剤・ルージュクリーナーは使用することはできますか？

- A pH11 以下のものは使用できます。
pHをご確認の上ご使用ください。
※強アルカリ性(pH11を超えるもの)は劣化を早める可能性があるため、使用しないでください。

Q11 熱処理(アニーリング)は必要ですか？

- A 必要ありません。
70℃より高い温度での再加熱は変形・変色の原因になります。

Q12 エステショットの裏装は可能ですか？

- A 可能です。
シリコンや常温重合型の裏装材が使用できます。
しかし、70℃より高い温度で加熱する加熱重合型の裏装材はご使用いただけません。

Q13 再ショットは可能ですか？

- A エステショットは再ショットにて化学的に接着しません。
予め必要な部分をエステショットにて成型し、即時重合型レジンにて接着させます。

●他社成型器での成型条件などについては株式会社アイキャストまでお問い合わせください。

お問い合わせ先 **株式会社アイキャスト** TEL 075-257-7270 または ウェブサイト (www.i-cast.jp) 「お問い合わせフォーム」

臨床編

Q1 エステショット義歯を装着し、熱いお茶やアルコールは飲めますか？

- A 問題ありません。
日常生活において、特に注意することはありません。

Q2 義歯洗浄剤は使用することができますか？

- A ニッシン製義歯洗浄剤「フィジオクリーン キラリ 錠剤(患者さん用)」「フィジオクリーン プロ 歯石用・色素用 (歯科医院用)」をご使用いただけます。
※pH11を超える強アルカリ性の義歯洗浄剤の使用は控えてください。
クラックなどの劣化を生じることがあります。